

『季節の宅配便』

クモの巣の複雑構造はどのようにしてつくられるのか

近畿大学附属農場では農薬を使って害虫を駆除していますが、害虫を捕食する益虫の助けも借りています。今回はそのひとつであるクモについて、その巣がどのように作られているか調べてみました。クモの巣は、クモが糸を張って餌を捕らえるためのトラップです。クモのお尻にある突起からお腹の中にある粘液を空気中に放ち、固まると糸になります。クモの巣は、さまざまな場所に見られ、形はクモの種類によって異なります。



張り方: 風を利用して糸を出しながら往復し、真ん中まで戻って、ぶら下がり、足場糸を張ってから、横糸を張って足場糸を切ります。

場所: 街灯や玄関灯など、獲物の虫が集まりやすい場所のほか、雨や風に弱いため軒下などにも巣を作ります。

形: クモの巣というと円網を思い浮かべる人が多いですが、クモによって、トンネル型、立体網、受信糸網など、さまざまな形の巣を作ります。

クモの巣は、見た目に加え、ホコリや虫、ゴミがひっかかり衛生的とはいえませんが、ダニやゴキブリを捕食する益虫でもあるので、クモは放置しておくのも正解かもしれませんね。